

国際社会と協調し、ともに発展していくために

技術支援や環境保全活動を通じた国際協力を推進

事業活動において深いかかわりのある中東産油国や、今後の経済発展が期待される発展途上国の持続的な発展の一助となることを願い、また、友好関係の維持・構築を図るため、コスモ石油グループでは技術協力、技術移転とともに、人材交流や文化交流を行っています。

海外協力活動

政府機関や海外の企業と連携して、各種開発調査プロジェクトや省エネルギーモデル事業を推進しています。

主な活動は、(財)国際石油交流センター(JCPP)の資金援助による国内・海外での研修会開催や海外での調査、(独)国際協力機構(JICA)が実施する海外への長・短期専門家派遣、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)による地球環境改善調査などの各種開発調査プロジェクトや省エネルギー・モデル事業への技術協力です。当グループは、政府機関との連携により、これらの活動を推進しています。



イエメンでの研修会の様子



研究所での実習風景



堺製油所での研修



千葉製油所での研修風景

UAE石油精製設備での環境保全技術調査、資源・環境保全技術検討の実施

アブダビ国営石油会社への技術支援として、アブダビ国営石油精製公社(TAKREER)ルwis製油所の資源・環境保全対策に関する具体的な技術提案を(株)コスモ総合研究所、コスモエンジニアリング(株)と共同で行っています。2003年には余剰ガス削減・回収によるゼロフレア化を検討するとともに、ナフサ船への積み込み時に大気中に排出されているベーパーを回収する技術調査を行いました。

インドネシア国営石油公社でのモデル事業実施

当社とコスモエンジニアリング(株)は、インドネシア石油公社のバリクババン製油所(東カリマンタン)で、「製油所フレアガス・水素回収設備モデル事業」を推進しています。本事業は、NEDOが重点施策として推進している「国際エネルギー消費効率化等モデル事業」の一つで、石油精製分野では初めての事業です。稼働時期は2004年度末を予定しています。エネルギー有効利用の推進だけでなく、地球温暖化防止にかかわる国際協力の観点からも期待されています。

イラン石油精製設備での環境保全技術調査

バンドルアバス製油所のMTBEローリー出荷基地において、大気中に排出されているベーパーの回収に関する技術調査を行ったのに続き、2003年度からはMTBEベーパー回収技術実証化プラントの設計、建設、運転について、具体的な検討を進めています。

オマーン国営石油での製油所調査と排水処理FS事業の実施

2003年度にオマーン国営石油ミナ・アル・ファハール製油所の技術調査を行い、排水処理設備、用役設備について提案をまとめました。2004年度には、当社の経験、実績を活かし、総合的な改善計画を立案していきます。

■産油国アブダビでの活動

事業活動を超えた人材交流、技術提供、文化交流など、幅広い活動を行っています。

当社の子会社であるアブダビ石油や、日本アラブ首長国連邦協会を通じて、1960年代から今まで長年にわたって事業活動を超えた、人材交流、技術提供、文化交流などを幅広く行ってきています。

アブダビ石油は、現地において日本人会の中で中核的な役割を果たしており、日本文化の紹介や交換留学プログラムのほか、現地NGOとの対話も始めるなど、幅広い交流を実施しています。

▶アブダビ石油における安全・安定操業

コスモ石油の子会社であるアブダビ石油は、18の国籍の従業員約140名（うち日本人は約50名）と常時契約社員を合わせた約330名体制でアブダビ現地で操業しています。緊急時の連絡系統の確立や、HSE（Health Safety & Environment）マネジメントシステムの導入を進め、安全で安定した操業に努めています。また、海洋汚染防止策として、日本の石油連盟と協力し、オイルフェンスなどの油濁防除資機材の保管を行うとともに、アブダビ海域で操業する6社による緊急時共同支援委員会に加盟し、緊急時に備えています。

▶アブダビ政府からの高い評価

アブダビ石油の安全・環境に対する取り組みは、アブダビ国営石油会社（ADNOC）からも高く評価されています。

1998年度以降毎年開催されている「ADNOC HSE AWARD」で、2000年度は「サワーガス圧入プロジェクト」が最高賞を受賞、2002年度は「タンクガス回収プロジェクト」が環境部門において第2位、2003年度は「プロセスベッセル内での作業環境改善」が健康部門において第2位となり、表彰されました。

▶マングローブの植林をはじめとする地域の緑化推進

アブダビ石油は、アブダビ市街にある現地事務所の敷地内での植樹や、ムバラス島でのマングローブの植林など、地域の緑化を積極的に進めてきました。

2003年からは、現地事務所敷地内に桜の苗木を植林するなど新たな試みも行っています。



ムバラス島のマングローブ林



アブダビ現地事務所



裏庭の堀沿いに桜を植樹

■人材交流

技術力やノウハウの移転を図るとともに、国境を超えた相互理解を深めるため、継続的に人材育成や人的交流を行っています。

2003年度はJCCPの資金援助を得て、国内外での研修会の企画・開催や、長期・短期のインターンシップ生の受け入れを57回行い、273名の研修生がこれに参加しました。

研修などの分野は環境技術、省エネ技術、製油技術、物流、販売、人事管理、研究開発など多岐にわたっています。また、総合的な教育普及支援として、2003年2月にインターネット技術を活用し、国

境のない教育について考える国際カンファレンス（アブダビ（UAE）:Philosophy “education2003”）にスポンサーとして協力し、当社役員も出席しました。

参照 ▶ データブックp18